## (19) 日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

## (11)特許出願公開番号

# 特開平10-312344

(43)公開日 平成10年(1998)11月24日

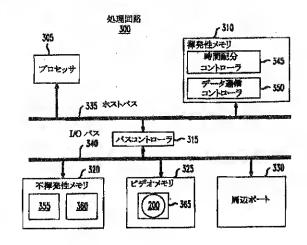
(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号		FΙ					
G06F 13/00	3 5 1		G06	F	13/00		351E	
	355					355		
3/00	656				3/00		656A	
17/60	000				15/21		Z	
17/30					15/40		310F	
17/30		審查請求	未請求		項の数22	OL	(全 15 頁)	最終頁に続く
(21)出願番号	特願平10-88933		(71) [	出願人				
(m-) poster v					ルーセ	ント	テクノロジー	ズ インコーオ
(22)出願日	平成10年(1998) 4月1日				レイテ	ッド		
	.,,,,,				Luc	e n t	Techn	ologies
(31) 確告權主張番号	08/832409				I n	c.		
(32)優先日	1997年4月2日				アメリ	力合衆	国 07974 二	ニュージャージ
(33)優先権主張国	米国 (US)				ー、マ 600-		ル、マウンテ	ン アベニュー
			(72)	発明者	マイカ	- I	イ. アドラー	
					アメリ	力合衆	國 03301	ニューハンプシ
								オード ストリ
					h			
			(74)	代理人	<b>, 弁理士</b>	三俣	弘文	
•			"					最終頁に続く

# (54) 【発明の名称】 通信ネットワークにおいて広告の配信をスケジューリングし制御するシステム

## (57)【要約】

【課題】 インターネットのような通信ネットワークに おける広告の表示を効率的にスケジューリングする。

【解決手段】 本発明のシステムは、時間配分コントローラ3 4 5 およびデータ通信コントローラ3 5 0 を f する。時間配分コントローラ3 4 5 は、リモートコンピュータのディスプレイ上に表示するための表示ファイル3 6 5 の広告領域で利用可能な時間の配分を行う。広告領域で利用可能な時間は、広告ごとに、(a)所望のユーザ頻度、(b)所望の時間頻度、または(c)所望のブオメトリ(形状)、のうちの少なくとも1つの関数として、複数の広告の間で配分される。データ通信コントローラ3 5 0 は、時間配分コントローラ3 4 5 による時間の配分に従って、広告領域に表示するためにリモートコンピュータへ複数の広告を配信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の広告のそれぞれに対して、所望の ユーザ頻度、所望の時間頻度および所望のジオメトリの うちの少なくとも1つの関数として、該複数の広告の間 で、リモートコンピュータの表示装置内の広告領域で利 川可能な時間を配分する時間配分コントローラと、

前記時間配分コントローラによる時間の配分に従って、 前記広告領域に表示するために前記リモートコンピュー タに前記複数の広告を配信するデータ通信コントローラ とからなることを特徴とする、通信ネットワークにおい 10 て広告の配信をスケジューリングし制御するシステム。

【請求項2】 前記複数の広告は、幅および高さを有す るグラフィカル表示であることを特徴とする請求項1に 記載のシステム。

【請求項3】 前記データ通信コントローラは、疑似ラ ンダム順序で前記広告領域に前記複数の広告を配信する ことを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項4】 前記広告領域は、前記通信ネットワーク 上のサーバによって配信される表示ファイル内に配置さ れることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項5】 前記広告領域は、前記通信ネットワーク と対話するリモートコンピュータプログラムの画面内に 配置されることを特徴とする請求項1に記載のシステ

【請求項6】 前記通信ネットワークはインターネット であることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項7】 複数の広告のそれぞれに対して、所望の ユーザ頻度、所望の時間頻度および所望のジオメトリの うちの少なくとも1つの関数として、該複数の広告の間 で、リモートコンピュータの表示装置内の広告領域で利 用可能な時間を配分する時間配分ステップと、

前記時間配分ステップによる時間の配分に従って、前記 広告領域に表示するために前記リモートコンピュータに 前記複数の広告を配信する配信ステップとからなること を特徴とする、通信ネットワークにおいて広告の配信を スケジューリングし制御する方法。

【請求項8】 前記複数の広告は、幅および高さを有す るグラフィカル表示であることを特徴とする請求項7に 記載の方法。

【請求項9】 前記配信ステップは、疑似ランダム順序 40 で前記広告領域に前記複数の広告を配信するステップか らなることを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項10】 前記広告領域は、前記通信ネットワー ク上のサーバによって配信される表示ファイル内に配置 されることを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項11】 前記広告領域は、前記通信ネットワー クと対話するリモートコンピュータプログラムの画面内 に配置されることを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項12】 前記通信ネットワークはインターネッ トであることを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項13】 広告領域を含む複数の表示ファイルを リモートコンピュータで利用可能にするデータ通信コン トローラと、

前記広告領域への広告の配信をスケジューリングし制御 するシステムとを有する通信ネットワークにおいて、 前記システムは、複数の広告のそれぞれに対して、所望 のユーザ頻度、所望の時間頻度および所望のジオメトリ のうちの少なくとも1つの関数として、該複数の広告の 間で、前記表示ファイルの広告領域で利用可能な時間を 配分し、

前記データ通信コントローラは、前記システムによる時 間の配分に従って、前記表示ファイルに前記複数の広告 を配信し、前記リモートコンピュータで前記表示ファイ ルを表示可能にすることを特徴とする通信ネットワー ク。

【請求項14】 前記複数の広告は、幅および高さを有 するグラフィカル表示であることを特徴とする請求項1 3に記載の通信ネットワーク。

【請求項15】 前記データ通信コントローラは、疑似 ランダム順序で前記複数の広告を配信することを特徴と 20 する請求項13に記載の通信ネットワーク。

【請求項16】 前記通信ネットワークはインターネッ トであることを特徴とする請求項13に記載の通信ネッ トワーク。

【請求項17】 前記データ通信コントローラおよび前 記システムのうちの少なくとも一方はインターネットサ ービスプロバイダにあることを特徴とする請求項16に 記載の通信ネットワーク。

【請求項18】 通信ネットワークのリモートコンピュ ータ内で実行可能なリモートコンピュータプログラムに おいて、該リモートコンピュータプログラムは、

前記リモートコンピュータにおいて、前記通信ネットワ ークから受信した表示ファイルを、広告領域を含む表示 画面で表示可能にするデータ通信コントローラと、

複数の広告のそれぞれに対して、所望のユーザ頻度、所 望の時間頻度および所望のジオメトリのうちの少なくと も1つの関数として、該複数の広告の間で、前記広告領 域で利用可能な時間を配分することによって前記広告領 域への広告の配信を制きするスケジューリングコントロ ーラとからなり、

前記データ通信コントローラは、前記るスケジューリン グコントローラによる時間の配分に従って、前記表示画 **面に表示するために前記リモートコンピュータに前記表** 示ファイルとして前記複数の広告を配信することを特徴 とするリモートコンピュータプログラム。

【請求項19】 前記複数の広告は、幅および高さを有 するグラフィカル表示であることを特徴とする請求項 1 8に記載のリモートコンピュータプログラム。

【請求項20】 前記データ通信コントローラは、疑似 50 ランダム順序で前記複数の広告を配信することを特徴と

1

する請求項18に記載のリモートコンピュータプログラ ム。

【請求項21】 前記通信ネットワークはインターネットであることを特徴とする請求項18に記載のリモートコンピュータプログラム。

【請求項22】 前記リモートコンピュータプログラムはワールドワイドウェブブラウザであることを特徴とする請求項21に記載のリモートコンピュータプログラム。

### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、通信ネットワーク に関し、特に、通信ネットワークにおいて広告の配信を スケジューリングし制御するシステムおよび方法に関する。

#### [0002]

【従来の技術】インターネットは、共通のプロトコルを 用いてワールドワイドなネットワークのネットワークを 形成するように動作する、ネットワーク(例えば、公衆 および私設の通信ネットワーク) の周知の集合体であ る。近年、効率的で、信頼性が高く、費用効果の高いコ ンピュータおよびネットワーキングツールが利用可能に なることにより、多くの会社および個人(まとめて「ユ ーザ」という。)が、成長しつつある電子市場に関わる ことが可能になっている。コンピュータ産業全体が経験 した計り知れないテクノロジーの進展により、このよう なユーザは、パーソナルコンピュータ (PC) のような 市販のコンピュータによって、情報処理および通信の需 要を満たすことが可能となっている。そのために、PC 製造業者は、ほとんどのPCに、インターネットのよう なネットワークを通じて通信するためのインタフェース を設けている。

【0003】インターネットは、顧客に情報およびサービスを提供するビジネスのための統合的な場所としての地位をますます高めている。このようなビジネスのうちの多くの主な資金源のうちの1つは、インターネットを通じての広告(このような広告のよく知られた例には、ニュースプロバイダ、自動車ディーラ、ソフトウェアプロバイダ、書店などがある。)である。既存の多くのインターネットホームページは、広告に割り当てられた1つあるいは複数の領域を有し、将来には、このような広告の量は増大するであろう。ホームページ上のみならず、Netscape (登録商標)のようなインターネットブラウザ上にも、1つあるいは複数の領域が広告に割り当てられるであろう。

【0004】一般に、インターネット広告プロバイダに よって提供される領域は、単純な、静的な掲示板ではな い。現在のインターネット技術によれば、広告領域の内 容の継続的で動的な更新が可能である。その重要な動機 は、多数のユーザを有するプロバイダは広告領域に高い 50 ちの少なくとも2つの適当な組合せを用いることも可能

--- ag

価格をつけ、複数の広告の間にスペースを分配することにより、多数の広告者が広告領域を利用することができるようにすることである。このような分配は、利用可能な総面積より小さい広告領域を販売すること、異なるユーザに対して異なる広告を表示すること、一人のユーザがみる広告を動的に変えること、あるいは、これらの2つ以上の何らかの組み合わせによって実現される。

#### [0005]

【発明が解決しようとする課題】従来技術において必要 10 とされていることは、インターネットのような通信ネットワークにおける広告の表示を効率的にスケジューリン グするシステムおよび方法である。

#### [0006]

【課題を解決するための手段】従来技術の上記のような 欠点を解決するため、本発明は、通信ネットワーク(例 えば、私設のイントラネット、公衆のインターネットな ど) において広告の配信をスケジューリングし制御する システムおよび方法を提供するとともに、このシステム あるいは方法を使用した通信ネットワークおよびリモー トコンピュータプログラムを提供する。ここで、「通信 ネットワーク」という用語は、ネットワーク内の2点間 で広告情報を通信する(それによってこれらの2点をリ ンクする) ことが可能な任意の処理システムネットワー クを含むように広義に定義される。ただし、このような 通信は、少なくとも1つの形態の標準的制御(例えば、 少なくとも1つのプロトコル)のもとにあるものとす る。広告情報には、テキスト(文書)、イメージ(画 像)、ビデオ(映像)、オーディオ(音声)あるいは、 本発明によってこのような通信ネットワーク内でスケジ 30 ューリングおよび配信制御が可能なその他の適当なデー タが含まれる。当業者には理解されるように、適当な通 信ネットワークは、有線(例えば、電気、光、あるいは その他の通信チャネル)でも、ワイヤレス(例えば、無 線、あるいはその他の通信チャネル)でもよい。

【0007】実施例のシステムは、概して、時間配分コントローラおよびデータ通信コントローラを有する。時間配分コントローラは、リモートコンピュータの表示装置(ディスプレイ)上に表示するための表示ファイルの広告領域で利用可能な時間の配分を行う。広告領域で利用可能な時間は、広告ごとに、(a)所望のユーザ頻度、(b)所望の時間頻度、または(c)所望のジオメトリ(形状)、のうちの少なくとも1つの関数として、複数の広告の間で配分される。データ通信コントローラは接続されており、時間の配分に従って広告領域に表示するためにリモートコンピュータへ複数の広告を配信する。当業者には理解されるソフトウェア、ファームウェアあるいはハードウェアのいずれによることも可能であり、あるいは、これら3つのうちのかたくとも2つの適当な組合せを用いることも可能

である。

【0008】以下で詳細に説明するように、本発明は、 **通信ネットワークにおいて、広告領域の利用を最適化す** るような、広告リソースを配分する優れた方法を提供す る。ここで、「ユーザ頻度」という用語は、ユーザによ るアクセスのうち、特定の広告がユーザによって見られ た割合として定義される。「時間頻度」という用語は、 特定の広告があるユーザに対して表示される場合に、そ の広告がそのユーザに対して表示されている時間の割合 として定義される。

5

【0009】時間配分コントローラが、特定の広告領域 で利用可能な時間をジオメトリの関数として配分するよ うな実施例では、ジオメトリは、少なくとも0次元(す なわち、0次元ジオメトリでは、ジオメトリは無視さ れ、例えば聴覚のみとなる。)である。広告がグラフィ カル (図形的) である場合、その次元は、幅、高さ、奥 行きなどである。広告が聴覚的であるなどの場合、その 次元は、時間、量などである。もちろん、本発明は、特 定のタイプの広告に限定されるものではなく、さまざま な次元条件あるいはさまざまなタイプの広告に適応可能 20 である。

## [0010]

【発明の実施の形態】図1は、本発明の原理による例示 的な通信ネットワーク(一般的に100で示す。)のブ ロック図である。実施例の通信ネットワーク100は、 複数のリモートコンピュータ105a~105n、イン ターネットサービスプロバイダ(ISP)110、およ び、部分通信ネットワークすなわちインターネット11 5を有する。

【0011】実施例のリモートコンピュータ105a~ 30 105nは、例えば、通信ネットワークと接続可能な適 当に設定された通常のコンピュータあるいはコンピュー タネットワークである。リモートコンピュータ105a ~105nはそれぞれ、ISP110に接続される(加 入する)ことが可能である。実施例のISP110は、 例えば、電子メール、フォーラム、ソフトウェアダウン ロード、ニュース、天気、スポーツ、経済などの情報、 電子商取引、オンラインゲーム、あるいはその他の機能 を、インターネット115を通じて加入者に提供する適 当なウィンドウズベースのオンラインコンピュータサー 40 ビス(例えば、Netcom(登録商標)、Ameri ca On-Line (登録商標)、CompuSer ve(登録商標)、Prodigy(登録商標)など) である。インターネット115は、ワールドワイドウェ ブ (WWW) を含む周知のワールドワイドな公衆ネット ワークである。ワールドワイドウェブも周知である。実 施例のリモートコンピュータ105およびISP110 は、パーソナルコンピュータ、ラップトップコンピュー タ、ミニコンピュータ、メインフレームコンピュータお よびスーパーコンピュータとともに、例えばローカルエ 50 のジオメトリのうちの少なくとも1つの関数として、複

リアネットワーク(LAN)、メトロポリタンエリア (都市) ネットワーク (MAN) あるいは広域ネットワ ーク (WAN) のようなコンピュータの公衆または私設 のネットワーク含む。実施例のリモートコンピュータ1 05a~105n、ISP110およびインターネット 115は、複数の通常の通信リンク120を通じて接続 される。実施例によれば、ISP110は、通信ネット ワーク100内で広告の配信をスケジューリングし制御 することが可能である。

【0012】一時的に図2を参照する。図2は、通常の インターネットインタフェースすなわちブラウザの例示 的なウィンドウ200を示す。インターネットインタフ ェースは、少なくとも部分的には、ウィンドウ200の 広告領域205に広告を表示するように動作する。本実 施例によれば、ウィンドウ200に関連づけられた表示 ファイルを含むいくつかの表示ファイルが、ISP11 0とリモートコンピュータ105の間で通信される。こ のような表示ファイルをリモートコンピュータ105の 表示装置(ディスプレイ)210に表示する技術は周知 である。従って、本発明について説明するためには、ウ ィンドウ200が通常のように表示されているというこ とで十分である。

【0013】注意すべき点であるが、ウィンドウ200 は、移動可能であり、サイズ変更可能なウィンドウであ って、表示装置210の表示画面215の全体の領域に 広がっていることも、一部のみを覆うこともあり得る (通常は、机の上で紙が重なり合うように、複数のウィ ンドウが重なり合っている)。アップルコンピュータ、 マイクロソフト、IBMなどのコンピュータソフトウェ アプロバイダはすべて、インターネットインタフェース をサポートするウィンドウ環境(グラフィカルユーザイ ンタフェース)を開発している。

【0014】実施例の広告領域205は、グラフィカル な(例えば、テキスト、イメージ、ビデオなど)広告を 表示することが可能である。各広告は、少なくとも1つ の次元 (例えば、幅、高さ、奥行きなど) を有する。理 解されるべき点であるが、単一の広告領域が図示されて いるが、本発明は、任意の数の広告、広告領域あるいは 表示装置によって実装され使用されることが可能であ る。さらに、広告は、視覚的である必要はなく、少なく とも部分的には、聴覚的あるいはその他であることが可 能であり、その次元は、例えば、時間、量などであるこ とが可能である。本発明は、通信ネットワークを通じて の特定のタイプの広告に限定されるものではなく、従っ て、任意の適当な次元制約に適応する。

【0015】図1に戻ると、ISP110は、広告領域 205への広告の配信をスケジューリングし制御するよ **うに動作する。具体的には、ISP110は、各広告ご** とに、所望のユーザ頻度、所望の時間頻度、および所望 数の広告間で、表示ファイルの広告領域 2.05で利用可能な時間を配分する(広告が 1 つしかない場合は、その広告を表示すればよい)。 1.5 P 1.0 は、複数の広告を、表示ファイルに配信し、時間の配分に従って、その表示ファイルのうちのいくつかをリモートコンピュータ 1.05  $a \sim 1.05$  n で表示のために利用可能とする。

【0016】図5で詳細に説明する実施例では、ユーザ 頻度、時間頻度およびジオメトリの原理は、広告領域2 05の利用を最適化するような、通信ネットワーク10 0の広告リソースを配分する優れた方法によって組み合 10 わされる。

【0017】本明細書では、インターネットの場合につ いて本発明の説明を行うが、本発明の原理および技術思 想は、複数のリモートコンピュータ(例えば、局、ノー ド、ジャンクションポイント、クライアントなど)を有 し、ユーザによってアクセスされあるいはブラウズされ ることが可能な、例えば電話ネットワーク、コンピュー タネットワーク、マルチメディアネットワークなどを含 む、有線または無線の適当に構成された通信ネットワー クで使用されることが可能である(このような通信ネッ トワークは特に、ラジオまたはテレビジョンの放送ネッ トワークは含まない)。本発明の重要な特徴は、インタ ーネットあるいはその他の、現在知られているかあるい はこれから開発される適当に構成された通信ネットワー クを通じての広告内容(例えば、風景、ザウンドあるい はその他のこれから開発されるメディア)の配信をスケ ジューリングし制御するのに適していることである。

【0018】本発明の原理を一般的に18P110に関 して説明するが、本発明の代替実施例としては、複数の コンピュータあるいは通信ネットワークにわたって分散 30 しているものも可能であり、また、リモートコンピュー タプログラム(例えばブラウザ)のようにリモートコン ピュータ105a~105n内の部分的あるいは完全な 実装を含むことも可能である。一般に、従来の通信の原 理および理論は、James Harry Green, "The Irwin Hand book of Telecommunications", IrwinProfessional Pub lishing (2nd ed. 1992), R. D. Gitlin, J. F. Hayes and S. B. Weinstein, "Data CommunicationsPrinciple s", Plenum Press (1992), Darren L. Spohn, "Data Ne twork Desing", McGraw-Hill, Inc. (1993), Stewart E. Miller and Ivan P. Kaminow, "Optical Fiber Tele communications II", Academic Press (1988), Mario D agenais, Robert F. Leheny and John Crow, "Integrat ed Optoelectronics", Academic Press (1995)、および Bud Bates and Donald Gregory, "Voce and Data Commu nications Handbook", McGraw-Uill, Inc. (1996)に記 載されている。

【0019】図3は、本発明の原理に従って、リモート P 110はデュアルバス構成 コンピュータ105 a  $\sim$  105 n あるいは 1 S P 110 して、シングルバス構成や、に適当に設けられる例示的な処理回路(一般的に 300 50 を有することも可能である。

8

で示す。)のブロック図である。本発明は、リモートコンピュータ105あるいは1SP110における応用に限定されないため、図3は、図1および図2と同様に、単なる例示である。代替実施例としては、処理回路300は、全体的にあるいは部分的に、並列プロセッサ、プログラマブルアレイロジック(PAL)およびプログラマブルロジックアレイ(PLA)のようなプログラマブル論理デバイス、ディジタル信号プロセッサ(DS

P)、フィールドプログラマブルゲートアレイ(FPGA)、特定用途集積回路(ASIC)、大規模集積回路(LSI)などの適当な処理装置と置換あるいは組み合わせて、本発明によるさまざまなタイプのコントローラおよびシステムを形成することが可能である。従来のコンピュータシステムアーキテクチャについては、Hans-Peter Messmer, "The Indispensable PC Hardware Book", Addison Wesley (2nded. 1995)、およびWilliam Stallings, "Computer Organization and Architecture", MacMillan Publishing Co. (3rded. 1993)に詳細に記載されている。従来の電子回路設計については、Paul Horowitz and Winfield Hill, "The Art of Electronics", Cambridge (2nded. 1989)に詳細に記載されている。

【0020】実施例の回路300は、プロセッサ30 5、通常の揮発性メモリ(例えばランダムアクセスメモ リ)310、バスコントローラ回路315、従来の不揮 発性メモリ(例えば読み出し専用メモリ)320、従来 のビデオメモリ(例えばビデオランダムアクセスメモ リ)325、および、周辺ポート330のセットを有す る。実施例のホストバス335は、プロセッサ305、 揮発性メモリ310およびバスコントローラ回路315 を接続する。実施例の入出力(I/O)バス340は、 バスコントローラ回路315、不揮発性メモリ320、 ビデオメモリ325および周辺ポート330のセットを 接続する。周辺ポート330のセットは、1/0バス3 40を、インターネットあるいはその他の通信ネットワ ークと通信するための通信回路のような、通信のための 複数の従来の周辺デバイスと適当に接続する。周辺ポー ト330のセットには、シリアルポートあるいはパラレ ルポートが含まれる。

【0021】バスコントローラ回路315は、ホストバス335およびI/Oバス340が接続されるのに適当な手段を提供することにより、これらの間の通信のためのパスおよび管理を提供する。実施例のバス335および340はそれぞれ、信号を伝送するための駆動電流を必要とする。従って、実施例の回路は、必要な駆動電流を供給する通常のシステムコントローラ(図示せず)とともに動作する。注意すべき点であるが、実施例の1SP110はデュアルバス構成を有するが、代替実施例として、シングルバス構成や、2バスより多数のバス構成を有することも可能である。

【0022】説明のため、図1および図2を同時に参照 する。実施例の揮発性メモリ310は、時間配分コント ローラ345およびデータ通信コントローラ350のそ れぞれの実行可能バージョンを含む。実施例の時間配分 コントローラ345は、実行時に、所望のユーザ頻度 (U(I))、所望の時間頻度(F(I))、または所 望のジオメトリ(S(1))のうちの少なくとも1つの 関数として、少なくとも2つの広告355、360(例 えば、不揮発性メモリ320に格納されている)の間 で、表示画面215の広告領域205で表示ファイル3 65が利用可能な時間を配分することが可能である。実 施例のデータ通信コントローラ350は、同じく実行時 に、時間の配分に従って、表示画面215で表示のため の広告領域205に広告355、360を配信すること が可能である。

【0023】以下でさらに詳細に説明するように、ユー ザ頻度は、(例えば、コンピュータあるいは端末105 aの) ユーザによるアクセスのうち、特定の広告がユー ザによって見られた割合に関連づけられる。時間頻度 は、特定の広告があるユーザに対して表示される場合 に、その広告がそのユーザに対して表示されている時間 の割合に関連づけられる。ジオメトリは、次元(少なく とも0) に関連づけられる。既に述べたように、広告3 55、360がグラフィカルである場合、その次元は 幅、高さ、奥行きなどであり、広告355、360が聴 覚的等の場合、その次元は時間、量などである(もちろ ん、本発則は、特定のタイプの広告に限定されない)。 【0024】一時的に図4を参照する。図4は、広告領 域205を提供する別のインターネットインタフェース の別のウィンドウ200(表示画面215の全体を占め 30 る)の例である。この場合も、ウィンドウ200は、通 常の表示装置210上に表示され、図2のウィンドウ2 0.0と同じ一般的機能および特徴を有すると仮定する。 【0025】この例の広告領域205は、表示ファイル 365で受信され、リモートコンピュータプログラム (図6に関して後述) 内に配置されこのプログラムによ って制御されるメモリ(例えば、揮発性メモリ310、 ビデオメモリ325など)に格納される。リモートコン ピュータプログラムは、例えば「ブラウザ」(例えば、 Netscape(登録商標))であり、通信ネットワ ーク100と対話し、ユーザがネットワークデータ (例 えば、ウィンドウ200、表示ファイル365など)に アクセスすることを可能にする。好ましい実施例では、 リモートコンピュータプログラムは、通信ネットワーク 100によって提供される広告領域205の代わりに、 あるいはそれに加えて、ローカルな広告領域205を有 することが可能である。

【0026】いすれにしても、実施例の広告領域205 は、2つの広告355、360のうちの1つを含む。広 告355、360はそれぞれ、幅および高さの両方を有 50 ば、Netscape (登録商標)) の場合、各使用は

する2次元(2D)のグラフィカル表示である。あるい は、広告355、360の一方あるいは両方は、第3の 奥行きの次元を行することも可能であり、また、グラフ ィカル表示とともに、または、その代わりに、聴覚的特 徴を有することも可能である。このような聴覚的特徴 は、1つの特性として、プレイ時間を有することが可能 である。

【0027】図3に戻って、説明のため、スケジューリ ングコントローラ(時間配分コントローラ)345およ びデータ通信コントローラ350は、リモートコンピュ ータプログラムに含まれると仮定する。データ通信コン トローラ350は、処理回路300における実行時に、 通信ネットワーク100から受信した表示ファイル36 5を、リモートコンピュータ105の表示画面215に 表示するために利用可能にする。既に述べたように、実 施例に応じて、表示画面215は、通信ネットワーク1 00によって提供される広告の代わりに、またはそれに 加えて、ローカルな広告領域205を含むことも可能で ある。

【0028】スケジューリングコントローラ345は、 同じく処理回路300における実行時に、複数の広告の それぞれに対して、所望のユーザ頻度、所望の時間頻 度、および所望のジオメトリのうちの少なくとも1つの 関数として、それらの複数の広告の間で、広告領域20 5で利用可能な時間を配分することによって、広告領域 205への広告の配信を制御する。データ通信コントロ **ーラ350は、このような時間の配分に従って、表示画** 面215上に表示するために、少なくともいくつかの表 示ファイル365とともに複数の広告をリモートコンピ ュータ105に配信する。

【0029】代替実施例としては、本発明の原理がリモ ートコンピュータ105、ISP110、あるいは通信 ネットワーク100で実現されるかにかかわらず、広告 領域205への広告の配信は、所定あるいは特定の順序 で行われることが可能である。さらに、広告領域205 への広告355、360の配信は、疑似ランダムに行う ことも可能である。また、注意すべき点であるが、本発 明の原理は、ユーザ頻度、時間頻度、およびジオメトリ という上記の3つのパラメータのうちの1つまたは複数 に関して適応的に実現することも可能である。このよう な実現の利点は、ある1SPが頻繁にアクセス(ブラウ ズ) され、そのような各アクセスが短時間であるような 場合を考えれば理解される。このような場合、注目すべ きパラメータは、与えられた広告のユーザ頻度となる。 例えば、すべての広告の時間頻度は1であるが、ユーザ 頻度は広告ごとに異なる場合、特定のユーザがあるIS Pにアクセスすると不変の広告のセットを見ることにな るが、相異なるユーザが別々にアクセスすると相異なる 広告を見ることになる。他方、ウェブブラウザ(例え

比較的長時間であり、定期的に相異なる広告のセットを 見せるのが好ましい。このような場合、与えられた広告 の時間頻度のほうが重要な考慮対象となる。

【0032】P(j)を、スロットjに割り当てられる 広告のセットであると仮定し、次のように定義する。

【数1】

$$|P(j)| = \sum_{I \in P(j)} s_i$$

すると、 $\max_j | P(j) | \le S$ である場合に、この広告削当ては妥当である。この実施例の主な目的は、特定の広告領域  $2 \ 0 \ 5$  に利用可能な時間を配分する妥当なスケジュール(もし存在すれば)を効率的に求めることである。

【0033】次に図5を参照する。図5は、本発明の原理に従って、ISP110の処理回路300を動作させて、通信ネットワーク100において広告の配信をスケジューリングし制御する方法の実施例の高水準流れ図

(一般的に 5 0 0 で示す。) である。例示した流れ図は 40 ソフトウェア用である。しかし、本発明はソフトウェアで実現されるアプリケーションに限定されないため、図 5 は、図 1 ~図 4 と同様に、単なる例示にすぎない。

【0034】まず、処理ステップ505で、実施例の時間配分コントローラ345が呼び出され、処理回路300により実行が開始される。処理ステップ510で、時間配分コントローラ345は、特定の広告領域205に関連する複数の特性(例えば、高さ、幅、奥行き、形状、フォーマット、オーディオ、プレイ時間など)のうちの少なくとも1つを識別する。

【0035】処理ステップ515で、時間配分コントローラ345は、複数の広告のうちの各広告ごとに、

(1) 特定の広告領域205に関連する1つまたは複数 の識別された特性と、(2) (a) 所望のユーザ頻度、

(b) 所望の時間頻度、または(c) 所望のジオメトリ (ただしジオメトリは少なくとも0次元を有する。)、 のうちの少なくとも1つ、の関数として、複数の広告355、360の間でリモートコンピュータ105の表示 装置210内の広告領域205で利用可能な時間を配分する

【0036】処理ステップ520で、データ通信コントローラ350が呼び出され、処理回路により実行が開始される。処理ステップ525で、時間配分コントローラ345に関連するデータ通信コントローラ350は、時間配分コントローラ345によって導出された時間の配分に従って、広告領域205に表示するためにリモートコンピュータ105 $\alpha$ ~105 $\alpha$ 055、360を配信する。

【0037】好ましい実施例では、実施例の流れ図500により、所望のユーザ頻度、時間頻度またはジオメトリのうちの少なくとも1つの関数として広告をスケジューリングするように、 $\max_{i} |P(j)| \le S$ となる解が適切に得られる。これについて説明するため、以下の例を考えると有益である。

【0038】第1の例として、各広告iに対して、ユーザ頻度は広告ごとに異なるが、常に有理数であり、ジオメトリは幅によって適当に指定され、各広告の時間頻度は1に等しいと仮定する。この場合、T(利用可能な時間スロットの数)を、広告iのU(i)の分母の最小公30倍数に設定し、wiをT×U(i)に設定し、siをL

(i) に設定し、Sを広告領域の幅に設定することができる。この例のスケジューリング問題の妥当な解に対して、各スロットごとに、そのスロットに割り当てられる広告の全幅は、広告領域205の幅より大きくない。妥当なスケジュールが存在する場合、表示すべき広告のセットは、プロバイダへのアクセスごとに、T個のスロットのうちの1つに割り当てられるすべての広告を表示することによって決定される。

【0039】もちろん、この選択は、T個のスロットを通して決定論的に巡回すること、ランダムにスロットを選択すること、スロットのランダムな置換を選択してその置換の順にT個のスロットを通して決定論的に巡回することなどを含めて、いくつかの異なる方法で行うことが可能である。

【0040】第2の例として、各広告iに対して、時間 頻度は広告ごとに異なるが、常に有理数であり、ジオメ トリは幅によって適当に指定され、各広告のユーザ頻度 は1に等しいと仮定する。この場合、Tを、広告iのF

(i) の分母の最小公倍数に設定し、w<sub>1</sub>をT×F(i) に設定し、s<sub>1</sub>をL(i) に設定し、Sを広告領

50

域205の幅に設定することができる。この例のスケジューリング問題の妥当な解に対して、各スロットごとに、そのスロットに削り当てられる広告の全幅は、広告領域205の幅より大きくない。妥当なスケジュールが存在する場合、すべてのユーザは同等に扱われ、任意の時刻において、いずれが広告領域205に表示されるかは、広告割当てにおいてスロットのうちの1つに割り当てられた広告のセットによって記述される。

13

【0041】もちろん、どのスロットを表示するかというこの選択は、T個のスロットを通して決定論的に巡回 10 すること、ランダムにスロットを選択すること、スロットのランダムな置換を選択してその置換の順にT個のスロットを通して決定論的に巡回することなどを含めて、いくつかの異なる方法で行うことが可能である。

【0042】最後の例として、各広告iに対して、ユーザ頻度および時間頻度は広告ごとに異なるが、常に有理数であり、ジオメトリは広告領域205と同一であると仮定する。この場合、Tを、広告iのU(i)の分母の最小公倍数に設定し、w.をT×U(i)に設定し、s.をF(i)に設定し、Sを1に等しいと設定することができる。この例のスケジューリング問題の妥当な解に対して、まずユーザがプロバイダにアクセスすると、そのユーザが見る広告は、T個の時間スロットのうちの1つを選択することによって決定される。妥当なスケジュールが存在する場合、時間スロットjにおける各広告iはs.という時間の割合で見られる。

【0.0.4.3】もちろん、どのスロットを表示するかというこの選択は、決定論的な、または、ランダムな広告の置換を通しての巡回を含めて、いくつかの異なる方法で行うことが可能である。ここで、各広告 $i \in P$  (j) は 30 s: に比例する時間だけ現れる。すなわち、時間単位を固定すると、次の広告は、確率s: で、各広告 $i \in P$ 

## (j) を選択することによって選択される。

【0044】以上の例から明らかなように、本発明は、 実施例の通信ネットワーク100のような通信ネットワークにおいて、広告領域205の利用を最適化するような、広告リソースを配分する優れた方法を提供する。当業者には理解されるように、以上では本発明の原理について、幅、高さ、奥行きなどによって記述される次元を行するグラフィカルな広告に関して説明したが、本発明40は、時間、量などによって記述される次元を有する聴覚的等の広告にも適応可能である。

【0.0.4.5】 2次元(2パラメータ)広告スケジューリングアルゴリズムのオフラインおよびオンラインの両方のバージョンについて考察するのが有効である。オフラインバージョンでは、スケジューリングされるべき広告のセット全体が事前に既知であり、要求されたすべての広告について、または、広告の適当なサブセットを選択することによって、 $\max x$ ,  $|P(j)| \le S$  に従うのが有効である。オンラインバージョンでは、広告は一度 50

に1個ずつ到着し、各広告が到着すると、その広告をスケジュールに含めるべきか否か(すなわち、プロバイダが、与えられた広告を販売することに同意するか)を判定しなければならない。最後に、以上の分析は、さらに高い次元に拡張可能である(すなわち、各広告が2個より多くのパラメータによって指定されるようなシナリオに拡張可能であり、一般的な方法論は、任意数のパラメータ(次元)で使用可能である)。

【0046】まず、オフラインアルゴリズムについて考える。再び、2次元(2パラメータ)の例を使用する。また、時間スロットのセットT、および、任意のサイズおよび重みの広告のセットAを仮定すると、TへのAの妥当な配分が存在するかどうかの決定をしなければならないということになる。

【0047】 n個の広告のセットに関して、それらのサイズを大きいサイズから小さいサイズへ順に s1,

 $s_2$ , ...,  $s_n$ として、各広告サイズ  $s_m$  が広告サイズ  $s_1$ を割り切り(すなわち、ある正整数  $k_n$ に対して  $s_1$   $= k_1 \times s_m$  )  $s_1$  が S を割り切る場合、このセットは「分割可能」であると定義する。好ましい実施例(G R E E D Y)は次のとおりである(「貪欲法」)。

・すべての広告を大きいサイズから小さいサイズへ順に ソートする。

・広告iがw。個のなるべく空いているスロットに割り当てられるように、ソートした順に各広告を割り当てる。分割可能な広告のセットを仮定すると、妥当な割当てが存在する場合に限り、アルゴリズムGREEDYから妥当な割当てが求まることを証明することができる。 【0048】も51つの好ましい実施例では、100 をは複数の広告サイズs 。s 以上の最小のs × 2 の値に丸めてから、広告iがw。個のなるべく空いているスロットに割り当てられるように、ソートした順に各広告を割り当てる。さらに別の例として、次の問題を考える。パラメータTと、分割可能なサイズの広告のセット人が与えられた場合、サブセット人「 $\subseteq$ Aとして、人がスロットに対する広告の妥当な割当てを有し、かつ、Aが値

【数21

$$\sum_{i \in A'} w_i s_i$$

を最大にするようなサブセットA を求めることができるであろうか。これは、広告領域の利用率を最大にするため、重要な問題である。この問題に対して、次の意味で、2段階近似をすることができる。すなわち、

【数3】

$$\sum_{i \in A'} w_i s_i \ge \frac{OPT}{2}$$

となるようなサブセット  $A \subseteq \Lambda$ 、および  $\Lambda$  に対する スケジュールを求めることができる。ただし、OPT は、すべてのサブセット A にわたる

【数4】

$$\sum_{i \in A'} w_i s_i$$

の最大値である。

【0049】以下のアルゴリズムを用いる。

- ・ $A_s$ を、サイズSの広告のセットとし、 $A_s$  を、残り 10 の広告(すべてサイズはSより小さい)とする。
- 次のようにおく。

【数5】

$$B_S = \sum_{i \in A_S} S \cdot w_i$$

$$B_S' = \sum_{i \in A_S} s_i \cdot w_i$$

- · Bs≥Bs fの場合、
- ・・A。内の広告(すべてサイズS)を、大きい重みから小さい重みへ順にソートする。
- ・・w. 個の空きスロットが利用可能である場合に広告 iにw. 個の空きスロットを割り当て、利用可能でない 場合はスロットを割り当てないように、ソートされた順 に各広告を割り当てる。
- ・・次に、As内の広告を大きいサイズから小さいサイズへ順にソートする。
- ・・広告iに対して、高々S-s,が満たされている少なくともw:個のスロットがある場合、w.個の空きスロ 30ットが利用可能であれば、広告iにはw:個の空きスロットを割り当て、利用可能でない場合はスロットを割り当てないように、ソートされた順に各広告を割り当て
- ・・サブセットA  $\dot{}$  は、スロットが割り当てられた広告となる。
- Bs < Bs の場合、</li>
- ・・As内の広告を、大きいサイズから小さいサイズへ順にソートする。
- ・・広告:に対して、高々S-s.が満たされている少なくともw.個のスロットがある場合、広告:にはw.個の最も満たされていないスロットを割り当て、利用可能でない場合はスロットを削り当てないように、ソートされた順に各広告を割り当てる。
- ・・次に、w<sub>1</sub> 個の空きスロットが利用可能である場合 に広告 i にw<sub>1</sub> 個の空きスロットを割り当て、利用可能 でない場合はスロットを割り当てないように、A<sub>2</sub> 内の 各広告を一対一に割り当てる。
- ・・サブセットA´は、スロットが割り当てられた広告となる。以上により、

【数6】

$$\sum_{i \in A'} w_i s_i \ge \frac{OPT}{2}$$

となるようなサブセット A が求まることを証明することができる。ただし、OPTは、すべての可能なサブセット A にわたる

【数7】

$$\sum_{i \in A'} w_i s_i$$

の最大値である。

【0050】次に、オンラインアルゴリズムに移る。今度も、2次元の例を用いる。ここで、特定の次元を有する広告が顧客から到着すると、本発明の方法は、その広告を収容するかどうかを各顧客に対して示す。本実施例によれば、一度特定の広告が受容されあるいは拒絶されると、その判断を取り消すことはできないが、スロットへの広告の割当ては、顧客から各要求を受け取った後に変更することができる。もちろん、すべての受容された顧客要求に対して妥当な割当てがあると仮定する。

【0051】 顧客要求の任意の列 C に対して、 O P T (C) を、すべてのオフラインアルゴリズム、および、受容される顧客要求のすべてのサブセット A にわたる 【数8】

$$\sum_{i \in A} w_i s_i$$

の最大値とする。任意の顧客要求列および任意のアルゴ リズムLに対して、alg(L,C)を

【数9】

$$\sum_{i \in A'} w_i s_i$$

とする。ただし、A´は、受容される要求のセットである。本実施例の目的は、値maxc(OPT(C))/ (alg(L,C))を最小にするアルゴリズムLを求めることである。好ましい実施例 (OL-GREEDY と呼ぶ)によれば、以下の手続きを、新たな各顧客要求ごとに反復する。

- ・新たな顧客要求を、受容される要求のセットに仮に追加する。
- ・このセットにGREEDYアルゴリズムを適用する。
- ・GREEDYが妥当な解を見つけた場合、この新たな要求は受容される。そうでない場合、その要求は拒絶され、受容される要求のセットから除去される。各広告のサイズは、ある非負整数 j に対して $S \times 2^{-1}$  であり、Z < S/2 は、広告の最大サイズの上限であると仮定した50 場合、max  $\circ$  (OPT (C)) / (a 1 g (OL-G

REEDY, C))  $\leq$ S/(S-2Z) であることを証 明することができる。OL-GREEDYが、要求の列 Cにすべての広告を入れることができる場合、(OPT (C) ) / (alg (OL-GREEDY, C) ) = 1 である。

【0052】次に、広告が、上記で用いたようなサイズ および重みというちょうど2つのパラメータより多くの パラメータによって指定されるシナリオに移る。広告 が、分割可能性の一般化に従う場合、上記と同じ基本ア ルゴリズムを用いることが有効である。各広告iは、重 10 好ましい実施例 (n-GREEDYと呼ぶ) は、以下の  $\lambda_{W_1}$ 、およびサイズ  $(s_1, s_1, \dots, s_1)$  のm次 元長方形、ならびにT個の時間スロットによって指定さ れ、各スロットはサイズ  $(S^1, S^2, ..., S^n)$  のm次 元長方形であると仮定する。

【0053】広告サイズが複数の次元によって指定され るため、スロット内の広告のすべての順序が同じm次元 量を要求するとは限らず、スロットに割り当てられる広 告はそのスロット内のある位置に割り当てられる必要も ある。こうして、広告割当ては、広告iがwi個のスロ ットのそれぞれに1回だけ割り当てられ、割り当てられ 20 た各スロット」内では、広告iは、「非重畳」性に従う 割当て位置し(1) = (1'(1) , 1'(1) , ..., 1°(11 ) を有する。すなわち、L(11 と、点L (11)  $= (I_{(ij)}^{1} + s_{i}^{1}, I_{(ij)}^{2} + s_{i}^{2}, ..., I_{(ij)}^{n} + s$ \*」) で規定されるm次元長方形内の位置には他の広告は 割り当てられない。広告スケジュールは、各広告iおよ びスロット j に対して、 $1^{1}$  (i)  $+ s^{1} \le S^{1}$ ,  $1^{2}$  (ii)  $+s^{2}_{1} \leq S^{2}, \dots, 1^{n}_{(1)} + s^{n}_{1} \leq S^{n}$ である場合に妥 当である。

【0054】m次元への分割可能性の一般化(m-分割 30 可能性と呼ぶ)は、許容される広告形状の系列P。=  $(S^{1}, S^{2}, ..., S^{n}), P_{1} = (p_{1}^{1}, p_{1}^{2}, ..., p_{n}^{2})$  $p_1$ ),  $p_2 = (p_2$ 1,  $p_2$ 2, ...,  $p_2$ 1), ...が存在し て、各t $\geq 1$ に対して、次元q $_{\epsilon}$ ( $1 \leq q_{\epsilon} \leq m$ )、およ び、整数  $k_1 \ge 2$  があって、 $p_{1-1} = k_1 \times p_1^{-1}$  であ り、すべてのr≒q、に対してp□「=p」「(ただし、  $k_0 = 1$ ) となることである。直観的には、この分割可 能性が主張しているのは、可能な広告形状の列Zo,  $Z_1, Z_2, ...$ が存在して、すべての  $t \ge 1$  に対して、 Z<sub>1</sub>が、ちょうど k<sub>1</sub> 個の形状 Z<sub>1</sub> を組み合わせること によって形成されるということである。

【0055】好ましい実施例によれば、n次元(nパラ メータ) 広告スケジュールを生成するには、スロット分 割のセットを定義する。この分割は、許容される広告サ イズの分割可能セットを用いたm次元スロットの分割で ある。このセットにおいては、許容される広告サイズの 数だけの分割があり、これは無限個になりうる。セット における第1の分割は、スロットを k。個の領域に分割 し、その各領域は形状P」であるというものである。セ ットの第2の分割は、第1の分割における各領域を ki

個の領域に分割し、その各領域はサイズPzであるとい うものである。一般に、セットの t 番目の分割は、 t ー 1番日の分割における各領域を k : 個の領域に分割 し、その各領域はサイズP<sub>1</sub>であるというものである。 説明のため、u≦vとして、UがVを含む場合、セット のµ番目の分割における領域Uを、v番目の分割におけ る領域の「祖先」と呼ぶ(あらゆる領域は自分自身の祖 先であると考えられる)。m-分割可能性に従うnパラ メータ広告のセットと、T個の時間スロットに対して、 ように広告をスケジューリングする。

S=1とし、Tはそのままとして、以下のように2パ ラメータ広告スケジューリング問題を定義する。それ は、nパラメータ問題における重みwiおよびサイズPi の各広告iに対して、同じ重みで、サイズが

【数10】

$$s_i = \frac{1}{\prod_{u=0}^t k_u}$$

の広告がある、というものである。

・この2パラメータ広告問題に対してアルゴリズムGR EEDYを実行する。このアルゴリズムにおいて、広告 1をw,個の最も満たされていないスロットに割り当て る際に、wi個の最も満たされていないスロットに対し て複数の可能な選択肢がある場合、最小の占拠率(スロ ットが満たされている割合)を有する最も若い番号のス ロットに広告を割り当てる。

・2パラメータ広告をスロットjに割り当てる場合、対 応する

nパラメータ広告をスロット

j に割り当てる。 ・スロット内で、広告を、サイズの非増大順に、それぞ れの位置に割り当てる。ここで、形状Ptの各広告を、 スロット分割のセットのうちのt番目の分割の領域Rに 入れ、以前の広告がRの祖先に入らないようにする。 【0056】n次元問題に対する最適解を求めること は、広告が高さ、幅、および、ユーザ頻度または時間頻 度のいすれかで指定されるような場合に対する解であ

40 る。上記の解析は、以下で説明する三重削当て問題に対

する解を求めるのにも使用可能である。 【0057】最後に、三重割当てスケジュールに移る。 この場合、各広告は、ユーザ頻度U(i)、時間頻度F (i)、および幅L(i)によって指定される。好まし い実施例によれば、スロットのセットがT個与えられ、 各スロットセットはサイズSのド個のスロットからな る。この実施例の主な目標は、広告iをU(i)×T個 の広告セットに割り当て、広告上が割り当てられた各セ ットにおいて、その広告はそのセット内のF(1)×F 50 個のスロットにちょうど1回割り当てられるような、広

告割当てを生成することである。P(j,k)を、セットj内のk番目のスロットに割り当てられる広告のセットであるとすると、広告削当ては、

【数11】

$$\max_{(j,k)} \sum_{i \in P(j,k)} L(i) \le S$$

である場合に妥当である。

【0058】この実施例の上記の主な目標に従って、妥 当なスケジュールは、もし存在すれば、以下のように効 10 率的に表示される。

- ・ユーザがプロバイダにアクセスすると、スロットのセットが選択される。
- ・各時間ステップにおいて、ランダムに、または、決定論的に、スロットを通して巡回して、このセットから新たなスロットが選択され、表示される。広告は、セット内の連続するスロットに割り当てられることもそうでないことも可能である。また、広告は、位置揃えされることもそうでないことも可能である。すなわち、スロットに割り当てられる広告が重なり合わない位置に割り当てられることも可能である。スロットのセット内で広告が連続的でありかつ位置揃えされる場合、三重割当てスケジューリング問題に対する解は、広告スロットの各セット内の長方形に各広告を割り当てることを含む。ここで、広告iの長方形の幅はL(i)であり、この長方形の高さはF
- (i)×Fである。この場合、三重制当て問題は、上記のnパラメータ広告問題において単にnが3に等しい場合として扱うことが可能である。

【0059】しかし、場合によっては、連続または位置 30 揃えの制限のないスケジュールのほうが、これらの制限 を有する場合より効率的であることがある。例えば、3 個のスロットからなるセットが3個の広告を含み、各広 告の時間頻度が2/3で、サイズがS/2の場合、広告 が連続的である必要がなく位置揃えされる必要もない場 合にはそれらの3個のスロットに対する妥当なスケジュ ールが存在する。しかし、いずれかの条件が要求される と、妥当なスケジュールは存在しない。時間頻度および 広告幅が分割可能であるような広告からなるセットに対 して、三重割当てスケジューリング問題に対する妥当な 40 スケジュールが存在する場合には、連続的かつ位置揃え された妥当なスケジュールが存在することを証明するこ とができる。時間頻度および広告幅が分割可能である場 合には、三重割当てスケジューリング問題を3パラメー タ広告スケジューリング問題として記述し、上記のアル ゴリズムまたは本発明の原理に従って適当に調整したそ の他のアルゴリズムを用いれば十分である。

【 $0\,0\,6\,0$ 】  $G\,R\,E\,E\,D\,Y$ が、セット内の広告の連続的 モートコンピュータ $1\,0\,5$ の表示画面 $2\,1\,5$ で利用可能 配置を見つけるということは、さらに利点を有する。ユ にする。表示画面 $2\,1\,5$ は、広告領域 $2\,0\,5$ を含む。処 ・ ボンデップの同じ広告を見ることを実 50 理ステップの $1\,0\,5$ の処

質的に保証する広告を販売することがある。広告業者は、広告が連続して現れる(すなわち、長い印象を与える)ようなすべての時間スロットを要求することもあり、また、連続しない時間スロットを要求する(すなわち、定期的に想起させるため)こともある。第1のルルである。第2の場合、セットの前半からのおば十分である。第2の場合、セットの前半からのおば十分である。第2の場合、セットの前半からのスロットを、セットの後半からのスロットと単にイがあらゆるスロットに現れる広告であることが可能である。実際、同様に半分ずつに割り当てることが可能である。実際、同様に半分ずつに割り当てることが可能である。実際、同様に半分ずつに割りよって、広告は等間隔となる。あるいは、さらに正確には、広告iが1/2\*の割合のスロットに現れる場合、iが現れるスロットどうしの間にちょうど2\*-1個の

【0061】GREEDYがセット内の広告の位置揃えされた配置を見つけるということもまた有用である。GREEDYは、ある広告が、広告領域内の同じ位置に常に現れることを実質的に保証することができる。広告が常に同じ位置にあることを実質的に保証するには、アルゴリズムn-GREEDY(ただし、n=3)によって与えられる位置の割当てが用いられる。すべての偶数番目のスロットにおける広告の順序を逆にすることによって、連続して現れる広告が相異なる位置にあることを実質的に保証することが可能である。

スロットがあることになる。

【0062】最後に図6を参照する。図6は、本発明の原理に従って、リモートコンピュータ105のうちの1つにおいて実装された場合に、処理回路300を動作させて、通信ネットワーク100からリモートコンピュータ105への表示ファイルの配信をスケジューリングし制御することが可能な、リモートコンピュータプログラムの実施例の高水準流れ図(一般的に600で示す。)である。リモートコンピュータは、表示装置210を有する。

【0063】実施例のリモートコンピュータプログラム600(例えば、適当に設定されたインターネットブラウザ)は、ソフトウェアによるものである。図6は、以前の図と同様に、単なる例示である。リモートコンピュータプログラム600は、時間配分コントローラ345 およびデータ通信コントローラ350のそれぞれを含む。

【0064】まず、処理ステップ605で、リモートコンピュータ105の処理回路300によってデータ通信コントローラ350が呼び出され実行される。ステップ610で、データ通信コントローラ350は、通信ネットワーク100から受信した表示ファイル365を、リモートコンピュータ105の表示画面215は、広告領域205を含む。処理ステップ615で、リモートコンピュータ105の処理ステップ615で、リモートコンピュータ105の処理ステップ615で、リモートコンピュータ105の処

理回路300によって時間配分コントローラ345が呼 び出され実行される。処理ステップ620で、時間配分 コントローラ345は、広告領域205に関連する複数 の特性(例えば、高さ、幅、奥行き、形状、フォーマッ ト、オーディオ、プレイ時間など)のうちの少なくとも 1つを識別する。処理ステップ625で、時間配分コン トローラ345は、複数の広告のうちの各広告ごとに、

- (1)特定の広告領域205に関連する1つまたは複数 の識別された特性と、(2)(a)所望のユーザ頻度、
- (ただしジオメトリは少なくとも0次元を行する。)、 のうちの少なくとも1つ、の関数として、複数の広告3 55、360の間で、広告領域205で利用可能な時間 を配分する。

【0065】処理ステップ630で、時間配分コントロ ーラ345に関連するデータ通信コントローラ350 は、時間配分コントローラ345によって導出された時 間の配分に従って、広告領域205に表示するためにリ モートコンピュータ105の表示画面215に少なくと も広告355、360を配信する。

## [0066]

【発明の効果】以上述べたごとく、本発明によれば、イ ンターネットのような通信ネットワークにおける広告の 表示を効率的にスケジューリングすることが可能とな る。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理による例示的な通信ネットワーク のブロック図である。この通信ネットワークは、通常の インターネットサービスプロバイダを含む実装を示す。

【図2】一部が広告領域を提供するように動作する従来 30 340 入出力(1/0)バス のインターネットインタフェースの例示的なフルスクリ ーン(全画面)ウィンドウの図である。

【図3】本発明の原理に従って、図1のインターネット サービスプロバイダに適切に設けられた例示的な処理回 路のブロック図である。

【図4】図2の広告領域を提供する従来のインターネッ トインタフェースのもう1つの例示的なフルスクリーン\*

\* ウィンドウの図である。

【図5】本発明の原理に従って、図3の処理回路を動作 させて、図1の通信ネットワークにおいて広告の配信を スケジューリングし制御する例示的な方法の高水準流れ 図である。

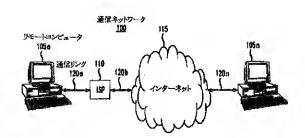
【図6】本発明の原理に従って、図1のリモートコンピ ュータのうちの1つにおいて実装する場合に、図3の処 理回路を動作させて、通信ネットワークからリモートコ ンピュータへの表示ファイルの配信をスケジューリング (b) 所望の時間頻度、または(c) 所望のジオメトリ 10 し制御することが可能な例示的なリモートコンピュータ プログラムの高水準流れ図である。

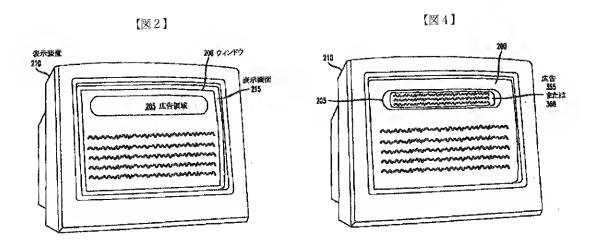
## 【符号の説明】

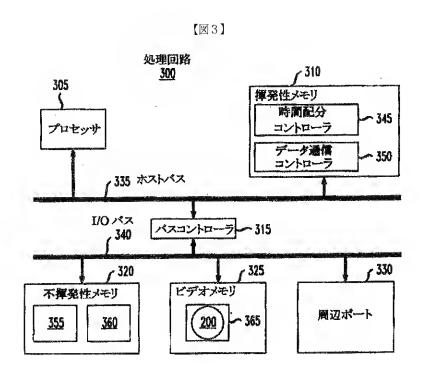
- 100 通信ネットワーク
- 105 リモートコンピュータ
- 110 インターネットサービスプロバイダ(ISP)
- 115 インターネット
- 120 通信リンク
- 200 ウィンドウ
- 205 広告領域
- 20 210 表示装置 (ディスプレイ)
  - 2 1 5 表示画面
  - 300 処理回路
  - 305 プロセッサ
  - 310 揮発性メモリ
  - 315 バスコントローラ回路
  - 320 不揮発性メモリ
  - 325 ビデオメモリ
  - 330 周辺ポート
  - 335 ホストバス

  - 345 時間配分コントローラ
  - 350 データ通信コントローラ
  - 355 広告
  - 360 広告
  - 365 表示ファイル
  - 600 リモートコンピュータプログラム

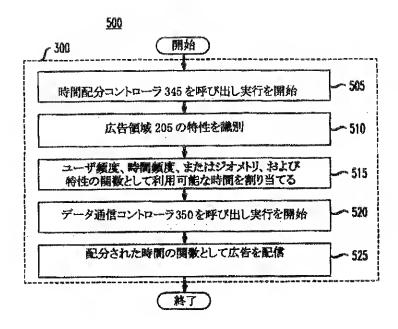
【図1】





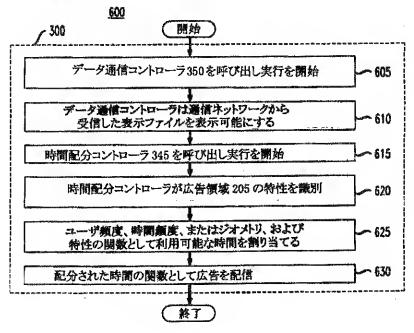


[図5]



【図6】

リモートコンピュータプログラム



フロントページの続き

(51) Int.C1.<sup>6</sup> 識別記号

FΙ

G O 6 F 1.5/403 3 4 O A

(71)出願人 596077259

600 Mountain Avenue, Murray Hill, New Je rsey 07974—0636U. S. A. (72)発明者 フィリップ ビー. ギボンズ アメリカ合衆国 07090 ニュージャージ ー、ウェストフィールド、エンブリー コ ート 201

(72)発明者 ヨッシ マティアス アメリカ合衆国 20854 メリーランド、 ポトマック、ロザリンダ ドライヴ 11815